

## 平成29年度 学校環境衛生検査 前期分

本年度もよろしくお願い致します。

### ● 飲料水検査 確認印不要

メールでお伝えさせていただきました通りです。

(今年度も業者は生活科学センターです。)

検査結果は、業者→名古屋市学校薬剤師会→支部長→各会員(コメント記入)→各学校の順で。※支部長への提出はなし。

### ● プール検査 確認印必要

※ ブイオン検査とカメレオンは2回、トリハロメタンは1回です。(検体は、県薬2Fか生活科学センターへ提出をお願いします。)

※ 今年度は3回でお願いします。プール条例で定める月1度の検査なら、2回で充分だと思いますが、名古屋市との契約が3回みたいです。残り1回は、生活科学センターに依頼を出さない項目(気温・水温・PH・残留塩素などを測定してください。)

※ 新しくプールの水を入れるときに、吸排水溝のチェックをし、写真を残しておくの良い事をお伝えください。

※ 塩素を入れていくと、PHが下がって行きます。PH5.8以下になると、PH調節剤をたくさん使用しないといけなく、大変な作業になりますので、PH6.2ぐらいからPH調節剤を使用して下さい。

※ 凝集剤は、市学薬から購入もできるそうです。(市学薬から個人で購入して、学校で購入してもらうルートもあるそうです。)

※ ろ過器濁度は、常温保存で大丈夫です。(お手数をおかけしますが、丸の内大島薬局まで濁度を測定に来て下さい。)

(去年の支部長会より)

※ プールのお水を出しっぱなしで、水道水代が400万ぐらいかかってしまい、校長・教頭・体育主任さんで負担した事例が全国的にあるみたいです。プール日誌に、新規補給水量の状況という項目があるそうです。

※ プール日誌のその項目をチェックして、記入していないときは、記入してもらおうと、そのようなミスを防ぐことができるので、お伝えください。

※ 5月や8月や9月にプールを使用する学校は教えてください。

- **保健室検査 確認印必要**  
 ※ 場所の指定は、ございません。学校の意向で決定して下さい。
  
- **騒音検査 確認印不要**  
 今年度は、7～9月に実施ですが、夏季の騒音検査は、外部騒音を測定するためなので、夏休み中に行うように、日程調整します。
  
- **空気検査 確認印不要**  
 ※ できる限り、エアコン使用時に行うようにしてください。どうしても難しい場合は、エアコンなしで測定してください。  
 ※ 二酸化炭素濃度測定器がガス検知器から機械のものに変更になります。  
 ※ 日程は、後日メールにて連絡させていただきます。
  
- **毒物・劇物・危険物の管理指導（5～6月）**  
 ※ 理科室などにある毒物・劇物・危険物の管理簿をチェックしてください。  
 ※ 理科の先生が異動になると、引継ぎが上手くいっていない場合があるので、この時期に行うことが望ましいそうです。  
 ※ 市学業のホームページに、検査票の記入をする項目の中に、執務簿があり、それを使用して確認した旨を記入して学校に提出してください。
  
- **その他**  
 ※ 給食調理場の点検表は、1学期は、すべての項目です。2学期3学期は、第2票、3票、5票の記入をお願いしてください。  
 ※ 給食室にて給食調理場衛生調査を行う場合は、手洗いして、白衣とキャップをはめて入室するようにしてください。養護の先生に渡している場合は、必要ありません。  
 ※ 市学業執行部の働きかけで謝金のアップが実現しました。基本給が188,000円となりました。  
 ※ 会員の先生が養護教諭へのセクハラ+プール検査時の日程調整でトラブルがあった。
  
- **28年度の検査結果を集計しての総括**  
 ※ **プール検査** 残留塩素が濃い学校が多かった。残留塩素が少ない学校で大腸菌の発生があった。騒音の問題で、夜間にろ過機が回っていない

い学校がある。4回転/日が望ましい。週明けの残留塩素が少ないケースが多い。

- ※ 保健室 休憩室の照度が明るいケースが全体の3割。カーテンなどで対策を助言する。
- ※ 空気検査 最適温度が25～28℃にも関わらず、28℃以上が44.7%もあった。二酸化炭素濃度は、1500ppm以上が全体の30.8%。授業前の換気と授業時の換気扇+天窓の開放で、上昇を防げる。